

機械器具48 注射筒

一般医療機器

歯科麻酔用注射筒

JMDN 35969000

オーラ[®]注用「1.0Cシリンジ」吸引タイプ

ORA[®] Inj.「1.0C Mechanically safeguarded syringe」

※【警告】

- (1)本器具は患者ごとに洗浄・滅菌すること。
- (2)針やカートリッジは、患者ごとに交換すること。

※【禁忌・禁止】

- (1)本器具を二次的加工(改造)しないこと。
- (2)劣化や異常が見られた場合は、本器具の使用を中止すること。
- (3)注射針の取り付けは、カートリッジ装填後に行うこと。
[液漏れが発生することがある。]

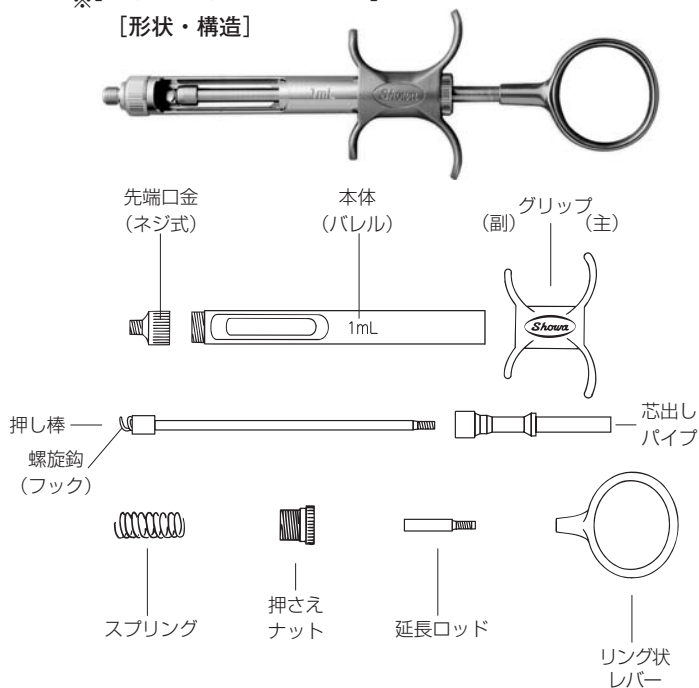
※※【品目仕様等】

【機能試験】

規格	試験方法
押し棒がスムーズに動くこと	先端口金を下に向けて垂直に保持し、押し棒をいっぱい引き出し倒立させるとき、押し棒は自由かつ滑らかに動く。
押し棒先端にプレのないこと	押し棒を本体奥まで押し込んだとき、押し棒の先端のプレは2mmを超えない。

※※【形状・構造及び原理等】

【形状・構造】



【原理】

オーラ注歯科用カートリッジ 1.0mLを装填し、市販の注射針を先端口金に取り付け、リング状レバーを押して薬剤を注入できる。リング状レバーにより、吸引が可能である。

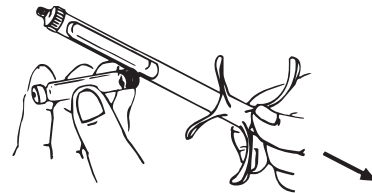
※※【使用目的、効能又は効果】

歯科用局所麻酔剤「オーラ注歯科用カートリッジ 1.0mL」専用のシリンジである。市販の注射針を組み合わせて使用する。

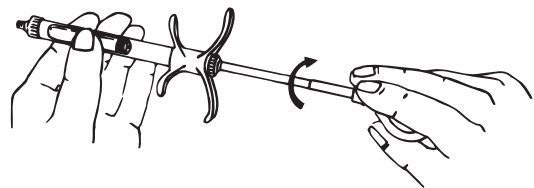
※※【操作方法又は使用方法等】

【使用方法】

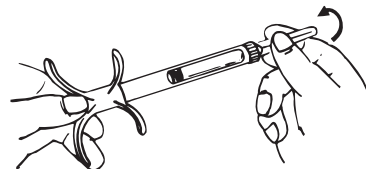
- (1)注射針を取り付ける前にリング状レバーを一杯に引き、カートリッジ後部から装填する。



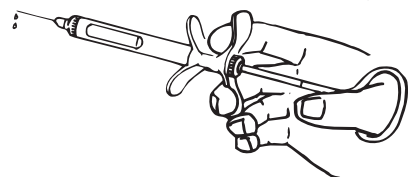
- (2)カートリッジを指で押さえ、リング状レバーを軽く押しながら右に1～2回転させ、螺旋鉤(フック)をカートリッジのプランジャゴム栓に食い込ませる。



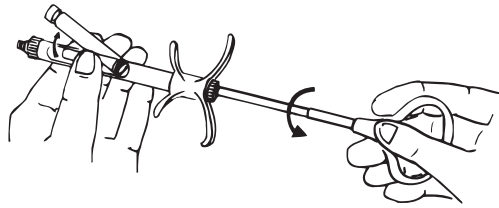
- (3)注射針を取り付ける。



- (4)液を2～3滴、滴下させた後、注射を行う。



- (5) 注射が完了したら針をはずし、カートリッジを指で軽く押えながら、リング状レバーを左に回転させて螺旋鉤(フック)をプランジャゴム栓からはずす。リング状レバーを一杯に引き、カートリッジを取り出す。



＜使用方法に関連する使用上の注意＞

- (1) 本器具と適合しない注射針及びカートリッジは使用しないこと。
- (2) 本体の向きを変える時は、押さえナットをわずかに緩めてから行うこと。

※※【使用上の注意】

- (1) 本器具を滅菌する場合は、血液、唾液、酸及び麻酔液等の残渣は十分に洗浄すること。また、弱酸性水で洗浄した後は、十分水洗いすること。
- (2) 本器具は、オートクレーブ(121℃、20分)、乾熱滅菌(180℃)等の滅菌法が可能であるが、滅菌を繰り返すことにより表面が変色することがあるが、使用には差し支えない。
- (3) 本器具先端口金内部に異物(錆等)が付着すると、カートリッジのディスク(ゴム)との密着性が悪くなり、液漏れが発生することがあるので、使用後は先端内を点検し、異物等を十分洗浄すること。
- (4) 長期間使用すると、押し棒と本体部分の金属磨耗によりブレが大きくなり、カートリッジの破損や液漏れが発生することがある。この場合は使用を避けること。
- (5) 本器具を分解洗浄した後は、押し棒とリング状レバーのネジ合わせを正確に行い、本器具が正常に作動することを確認すること。
- (6) 本書に記載の用途以外には使用しないこと。
- (7) 本器具は、医療有資格者以外は使用しないこと。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

- (1) 直射日光を避け、清潔な場所に保管すること。
- (2) 本器具は、医療従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【包装】

1 本入

(ロック式先端口金タイプは別途販売)

※※【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：昭和薬品化工株式会社

住所：〒104-0031

東京都中央区京橋二丁目17番11号

電話：0120-369-873

(月～金曜日 9:00～17:30/祝祭日・当社休日を除く)

製造業者：昭和薬品化工株式会社